



2025年3月24日

各位

会社名 太陽ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 佐藤英志
(コード:4626 東京証券取引所 プライム市場)
問合せ先 常務執行役員 CFO 富岡さやか
(TEL 03-5953-5200 (代表))

通期業績予想の修正、特別損失の計上及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ

当社は、2025年3月期第4四半期会計期間において特別損失の計上を行うことといたしました。また、2025年2月5日に公表しました2025年3月期通期連結業績予想及び2024年5月1日に公表しました期末配当予想につきまして、下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2025年3月期 通期連結業績予想の修正について

(1) 通期連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）の修正について

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	118,600	22,300	21,700	14,900	267.00
今回修正予想(B)	118,600	22,300	21,700	10,600	189.90
増減額(B-A)	0	0	0	△4,300	
増減率(%)	0	0	0	△28.9	
(ご参考)前期実績 (2024年3月期通期)	104,775	18,203	17,310	8,654	154.89

(2) 修正の理由

「2. 特別損失の計上について」に記載のとおり減損損失を計上する見込みとなったことから、親会社株主に帰属する当期純利益について修正いたします。

売上高・営業利益のセグメント別業績予想に関しては、修正はございません。

2. 特別損失の計上について

当社連結子会社である太陽ファルマ株式会社において保有している販売権につき、収益性の低下を踏まえ、その評価額の見直しを行いました。その結果、当該販売権の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、7,010百万円の減損損失を2025年3月期第4四半期会計期間において特別損失に計上することといたしました。当該販売権及び収益性が低下した理由は、以下のとおりです。

販売権	収益性が低下した理由
・カイトリル [®] ・マドパー [®]	・円安やインフレに伴う調達価格の高騰 ・薬価改定に伴う販売価格の下落
・ジゴシン [®]	・円安やインフレに伴う調達価格の高騰 ・長期収載品の選定療養等による市場環境の変化に伴う販売数量の減少
・オメプラール [®] ・テノーミン [®] ・セロケン [®] ・レミニール [®]	・円安やインフレに伴う調達価格の高騰 ・薬価改定に伴う販売価格の下落 ・長期収載品の選定療養等による市場環境の変化に伴う販売数量の減少

3. 配当予想の修正について

(1) 配当予想の修正の内容

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 (2024年5月1日発表)	—	40円	80円
今回修正予想	—	150円	190円
当期実績 (2025年3月期)	40円	—	—
前期実績 (2024年3月期)	38円	42円	80円

(2) 修正の理由

当社は、現金による株主の皆様への利益還元を最重要政策の一つと位置付けており、継続的かつ安定的に高水準の利益還元を実施しています。株主資本配当率(DOE)を長期経営構想の目標指標とし、「連結決算を基準に株主資本配当率(DOE)5%以上を維持すること」、「ROE改善に向け連結総還元性向100%を目安とした株主還元を実施(少なくとも2028年3月期まで)」という方針に基づき、2025年3月期の期末配当を従来の1株当たり40円から150円に上方修正することといたしました。

なお、配当予想は本日公表した「株主の皆様への利益還元方針の変更に関するお知らせ」に則しております。

(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上